

第169回 品種見本市

(近畿農政局 滋賀拠点)



日時： 令和7年6月19日(木) 13時30分～

主催： 近畿農政局 / 協力： 青果育種研究会

主題： 『 需要の見込まれる優良種苗の勉強会 』

趣旨： 種苗会社は、特徴のある品目・品種の種苗開発に加えて、生産者・実需者と連携して、開発した品種の生産・販売拡大にも取り組んでいる。一方、生産現場では、高齢化の進展、気候変動への対応が求められている。また、種苗会社では、野菜の多収性、肥料利用率向上、病害虫抵抗性、環境変動適応、省力栽培適性、良食味、高品質、機能性成分等といった生産者や消費者のニーズに対応すべく研究が行われている。

そこで、実需者からの需要を踏まえ、種苗メーカー、生産者、実需者が一体となり、いち早く生産現場に導入し、生産者の高収益作物導入による安定経営を目指した情報交換・商談会を開催するものである。

【ご挨拶】



後藤 正明 青果育種研究会会長

【会場風景】



丸種株



住友ベークライト(株)



横浜植木株



(株)サカタのタネ



(株)萩原農場



福井シード(株)



タキイ種苗(株)



ヴィルモラン
みかど(株)

